

# 令和8年度採用 岐阜県公立学校教員採用選考試験 第2次選考試験 模擬授業の実施について【中学校国語】

## 1 模擬授業の内容について

### (1) 模擬授業①について

- ・中学校第2学年において、「書写」を指導するに当たり、下記に示す資質・能力を育成することを踏まえて、本時の導入を模擬授業として行う。

#### 【育成を目指す資質・能力】

- ・目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと。 [知識及び技能] (3) ウ (イ)
- ・本時の目標を「楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要か、理解しよう。」とする。
- ・次の二つの場面を踏まえて、本時の目標の達成に向かう導入を行う。

#### 【場面】

- ① インタビューのメモを取る場面
- ② 入学願書を書く場面

### (2) 模擬授業②について

- ・下記の単元を指導するに当たり、単元の導入を模擬授業として行う。
- ・その際、【単元の目標】を踏まえ、資質・能力を育成するために効果的な言語活動を設定して提示すること。

【単元名】 第1学年 必要な情報をわかりやすく 案内文を書く

#### 【単元の目標】

- ・比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) ア
- ・書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] B (1) イ
- ・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

## 2 実施方法について

- ・説明会場にて、模擬授業の説明を受ける。その後、試験会場へ移動し、模擬授業を行う。
- ・模擬授業①②は、それぞれ入室してから退出まで約8分間で行う。そのうち、受験者が模擬授業を行う時間は5分以内とする。
- ・入室後、指定された位置に立ち、志願種別と受験番号を言う。試験委員の「はじめてください」の合図で、模擬授業を開始する。
- ・掲示物等の提示や黒板への記入等を行わず、口頭のみでの模擬授業とする。掲示物や資料があったり、黒板に書いてあったりするものと想定して模擬授業を行っても構わない。
- ・持ち込み可能なものは、2次試験前に準備したメモ（A4サイズ1枚）のみとする。  
2次試験当日までにメモを作成して、メモを見ながら授業を行っても構わない。  
メモは評価の対象とはしない。提出は不要とする。

### 【メモについて】

- ・A4サイズ1枚（両面使用可）とする。
  - ・授業案、口述原稿など、模擬授業に必要な内容を自由に書いてよい。
  - ・本や教材などをコピーしたものでも可。
  - ・メモを道具（教材）と見立てて示したり、黒板等に掲示したりすることはできない。
- ・模擬授業①②では、試験委員を生徒と想定して模擬授業を行う。ただし、試験委員とのやり取りは一切できない。